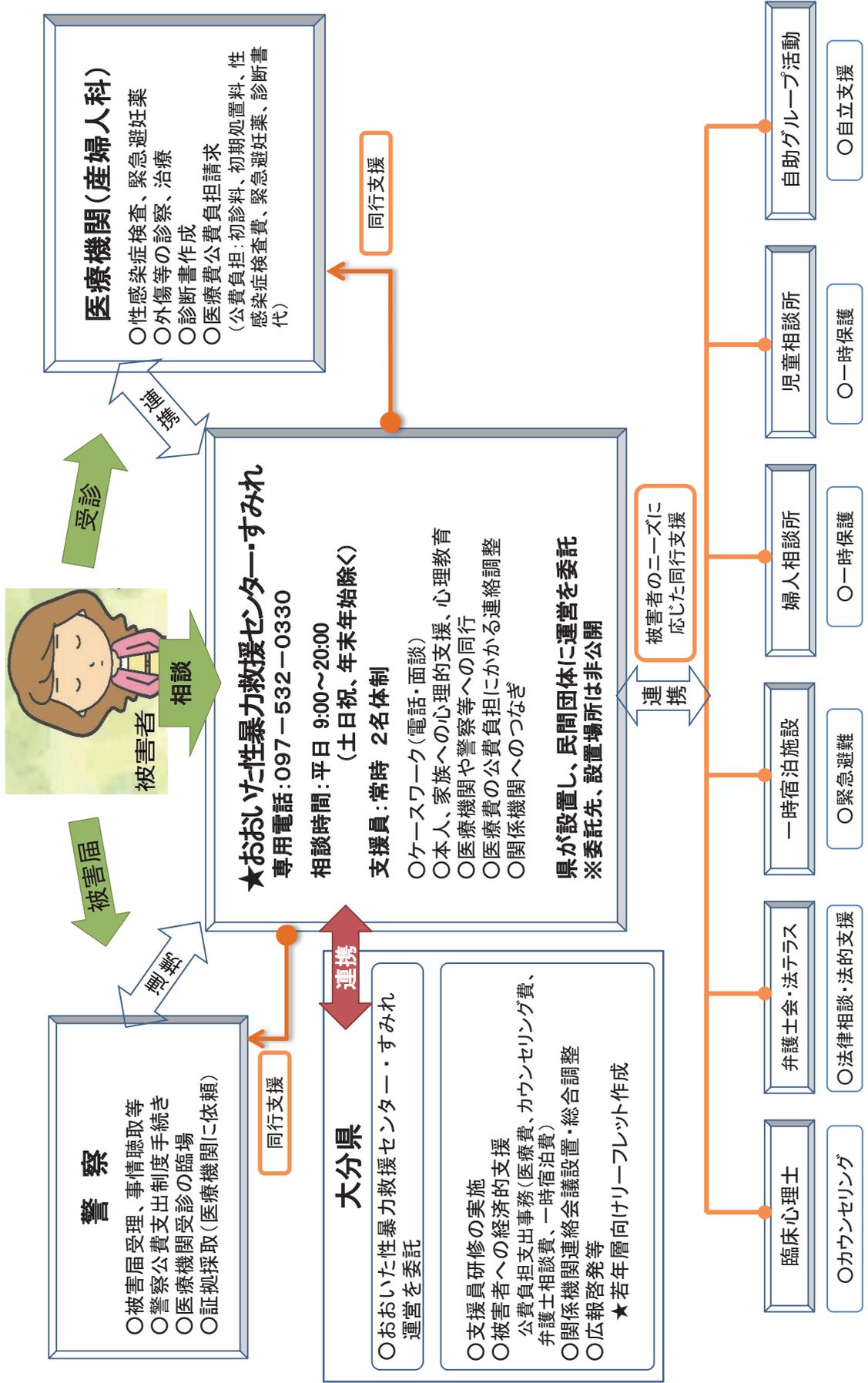


大分県

大分県における性犯罪・性暴力被害者対策推進体制

性暴力等被害者支援の流れ

★＝内閣府モデル事業



大分県：相談・支援対応（相談支援機能の拡充・強化）

1. 実施前の課題

性暴力被害者に対する総合的な相談窓口がなく、被害者は心身にダメージを受けている状態で自ら調べて、いくつもの支援機関等に足を運び、それぞれの支援機関で被害体験を説明しなければならず、大きな精神的負担となっている。

2. 実施による成果目標

被害者が被害直後から中長期的に安心して相談ができ、必要な支援につながるよう、性暴力被害者に対する総合的な相談窓口で、相談やコーディネート、付添支援を行い、被害者の精神的軽減を図る。

3. 実施結果

性暴力被害者に対する総合的な相談窓口である「おおいた性暴力救援センター・すみれ」において、電話や面接で相談に対応し、必要に応じて関係機関につなぐとともに付添支援を行った。

【相談時間】

月～金 9：00～20：00（祝日、年末年始は除く）

【相談状況】平成28年7月～12月の実績

相談件数 81件（電話75件、面接6件）

付添支援 8件（行政機関1件、弁護士事務所3件、医療機関4件）

4. 実施の成果

警察への相談を躊躇している被害者からの相談を受け、法律相談等につなげることができた。また、被害者が関係機関等を訪問する際に付添いし、被害者の精神的負担を軽減した。

5. 実施後の課題（現状）

性暴力被害者の相談窓口を開設し広報しているが、まだ認知されておらず、被害直後の被害者からの相談ではなく、被害後しばらくたってからの相談や、他相談機関等からの紹介で相談につながっている状況となっている。今後は、幅広い層へのさらなる広報が必要である。

大分県：若年者向けリーフレットの作成（広報啓発の推進・強化）

1. 実施前の課題

性暴力被害者を総合的に支援する相談窓口開設にあたり、被害者を相談窓口につなげるため、性暴力に対する理解や相談窓口の存在の周知を図る必要がある。

2. 実施による成果目標

若年層が手に取りやすいリーフレットを作成し、若年層を中心とし広く相談窓口の周知を図る。

3. 実施結果

若年層向けリーフレットのデザイン・印刷 15,000部

【140mm*297mm 三つ折り 表面】



【140mm*297mm 三つ折り 内面】



4. 実施の成果

若年層が手に取りやすく、見てもらえるようなリーフレットの作成を相談員等と検討した結果、若年層に向けた啓発に必要な視点が整理できた。

- ・あたたかみのあるデザイン
- ・内容を詰め込みすぎず、必要最小限の伝えたいこと
- ・わかりやすい言葉を使う

また、このデザイン等は、若年層向けの啓発だけではなく、幅広い層への啓発に利用できるものとなった。

【主な配布先】

県関係機関、県内市町村、若年層向け相談機関等

5. 実施後の課題（現状）

性暴力被害者の相談窓口を開設し広報しているが、まだ認知されているような状況ではないため、さらなる広報啓発を実施する必要がある。

特に被害が発生しやすい若年層に対する広報啓発を強化していくため、各種広報媒体を活用したり、各高校や大学等を訪問し学校関係者の理解を得ると同時に、若年層の手元に渡るような配布について協力を求めたりなど、広報啓発の方法を工夫していくことが重要である。